



2021年10月12日

日本鉄道労働組合連合会

## 近畿地方協議会 第31回拡大幹事会

### 難局を乗り越え、明日のJR連合近畿地協を創り上げよう！

JR連合近畿地方協議会は10月4日、大阪市において、第31回拡大幹事会を開催した。本拡大幹事会は、総会としての機能を持つもので、通常の幹事会メンバーに加え、近畿地方の各府県協議会の代表者を拡大幹事として招集のうえで開催されており、2021年度の運動方針や予算を確立するとともに、役員選出を行った。JR連合からは、来賓として相良夏樹組織部長が出席した。



冒頭、上村良成議長（JR連合副会長・JR西労組中央執行委員長）は、コロナ禍や当面する課題に触れ、「公共交通の安全・安心を訴え、如何にお客様のご利用を戻していくか。発信を続けていくことが重要」と述べ、さらに来る衆議院議員総選挙に触れ、「コロナ禍により、政治・政策活動の重要性を痛感。これまで、国会の代表質問でJRという単独企業の苦境が訴えられることはなかった。組合員にもしっかりと国会議員懇談会や議員フォーラム所属議員の活躍を伝えて、必勝に向けて取り組もう」と呼び掛けた。

議事では、執行部より2020年度の活動経過・決算、さらには2021年度の運動方針・予算が提起され、満場一致で承認された。また、役員として、上村議長のほか、白壁靖子副議長（JR連合特別執行委員・JR西労組中央副執行委員長）、竹崎秋彦副議長（JR東海ユニオン関西地本執行委員長）、福本哲也副議長（貨物鉄産労関西地区本部執行委員長）、羽野敦之事務局長（JR連合執行委員・JR西労組書記長）らが選出された。

本拡大幹事会では、例年、各府県協議会の代表者が一堂に会する貴重な機会であることを踏まえ、JR連合の具体的な取り組みについて学ぶ機会を設けることとされており、今回については、来賓挨拶を兼ねて相良組織部長がその勉強会の講師を務めた。相良組織部長からは、①コロナ禍への対応、②政策・政治活動における課題、③組織課題について説明を行った。具体的には、3産別要請行動の概要や要望のポイントを解説するとともに、交運労協を通じての取り組みとの違いを説明した。また、今後の課題として、23道県知事から提言がなされた地域公共交通に関するスタンス、整備新幹線計画推進に向けての鉄構労との連帯、野党共闘に関する情勢、JR各労組の状況等について説明を行った。